

ひとつ 前へ

輪 島 市 立 東 陽 中 学 校
平成 28 年 2 月 24 日 発行

“先輩の背中”と それをめざす後輩

今年度最後の生徒集会が2月16日にありました。これまで、各委員会の報告では3年生が前に並ぶことが常でしたが、今回、発表席に並んだのは2年生でした。この日が生徒会委員会の3年生から2年生へのバトンタッチの日になったわけです。緊張した面持ちで取組報告をする2年生、それに対し落ち着いた



様子で鋭く質問を投げかける3年生。その一方で、2年生が困った時には、すかさず3年生がフォローする場面もありました。意見発表で1年生の堂前 美咲さんが3年生のような先輩をめざしたいとの意見を述べると、その後



は、1年・2年を問わず、自分たちを導いてくれた3年生に感謝し、自分たちもそんな先輩になれるよう頑張りたいという意見がたくさん出ました。3年生にとっては山あり谷あり、リーダーとしての苦労をたくさん味わって来たことでしょう。しかし、自分たちが苦労した背中をちゃんと後輩達が見ていてくれたこと、評価してくれていることを嬉しく且つ誇らしく感じたことは間違いありません。3年生にとっては、これまでの歩みに自信を持ち、次の「高校」

という新しいステージに向かう意欲を新たにした時間でした。



バトンを引き継いだ2年生は、委員会活動以外の場面でも、これからの東陽中を背負っていくための苦労や大変さを感じています。部活動では自分たちの目標をどう設定するのか、練習はどのようにすすめればより効果を上げることができるのか。そもそも、部活動内で意思統一を図る時、上級生としてどのような態度や言動が求められるのか...

そのため、2年生は部長副部長会議の中で自分の部の強みや弱みをいかすことを共通理解した上で、ミーティングを開き目標設定や練習計画の実行に試行錯誤を重ねています。学習面では、学校全体(=団体)

として学習する雰囲気を作るため、まず、2年生の家庭学習の進め方を工夫しています。具体的には、班ごとにリーダーが宿題の内容と量を決めて取組み、次の日にチェックをしたり、班で教え合ったりする活動です。2年生はこのような適材適所でリーダーとフォロワーが入れ替わりながら良い考えになるよう磨き合うことで、学校全体を牽引する力を高めようとしています。「リーダーの牽引力を高める」と言葉にするのは簡単ですが、全体をまとめていくには10のことを努力しても実際には1つか2つしか前進しないものです。しかし、それでも前に進もうと知恵を絞り自ら汗をかいて努力した時に、その背中を次の後輩がじっと見えています。2年生の苦労と健闘はまだまだ続きます。でも、きっと諦めずに挑み続けてくれるはずです。なぜなら、“東陽中学校の伝統”というバトンを引き継ぎ、先輩である3年生に近づき追い越すことが、今までリードしてくれた3年生への一番の恩返しとなることを知っているのだから。

学校長 西又 浩二



改めて、“能登”を考える



1月28日(木)、昨年に引き続き、輪島キリモトの桐本泰一さんをお招きして職業人講話を行いました。今回は「地域を意識する」をテーマに、古文書研究で知られる故網野善彦氏の著書『続・日本の歴史』に記されている「時国家」の古文書から見えてくる能登の姿の紹介や桐本さんの体験から考える輪島のよさについて話して頂きました。また、中学生の眼から眺めた能登の良さや不便と感ずることがらを話し合いながら、東陽中の生徒自身が“ふるさと輪島”を考える機会を設けて頂きました。江戸時代まで海岸を利用した塩田、造林業をもとに炭の生産、港町として廻船商人が活躍し金融業等も盛んであったことなど、想像もつかない能登の姿に触れたり、「不便をバネに」という気質を持った粘り強い土地柄であったことなどを熱心に語る桐本さんに、たくさんの勇気や能登に住む誇らしさを感じることができた時間でした。

今回、職業人講話で学んだことは3つあります。1つめは地元が一番良いということです。高校や大学で地元から離れるときに、地元の良さを改めて感じられることが分かりました。2つめは食べ物についてです。お米や魚は、この輪島の誇りでもあることが分かりました。3つめはグループで話し合うことについてです。みんなで話し合った分、いろんな考えが深まり合って、より良いものに上げることができました。私も少しずつ将来の夢を持って、もし、地元から離れたとしても、またいつか戻ってきたいと思いました。輪島の自然や見所をもっといろんな人にアピールして、地元を大切にしていきたいです。今回は貴重なお話が聞けて良かったです。〔1年 中山 莉子〕

自分の“出身地”ということを変更して考え直す機会だったかなと思いました。「輪島」という地域は昔、どのような場所だったのかというお話から始まり、後半は委員会ごとに分かれて‘祭り’‘遊ぶこと’‘食べること’などいろいろな見方から「輪島」について話し合いました。去年はお話を聞くだけでしたが、今年は話し合いで自分の意見や他の人の意見が重なったりすると、「輪島」について同じ見方を持つ人がいるといううれしさもあり、今年はより楽しく感じました。後半だけではなく、前半の「輪島」の話は、とても興味深かったです。“ふるさと”というぐらい、自分の出身地「輪島」に誇りを持とうと思いました。〔2年 皆戸 裕夏〕

今日の職業人講話で輪島の良いところを再確認できました。最初のお話での、昔の町野地区のことは知らないことがたくさんありました。昔は交易などで栄えていたことや町野川の河口に港があったことは聞いたことがありませんでした。輪島塗は改めてすごいものだと思います。全国に漆製品が出回り、利用されていることはすごいことだと思います。輪島塗など伝統産業や自然、食べ物など輪島には良い点がたくさんあり、それをいかすためにも、僕たちのような若年層の力が必要だと再確認できました。僕は将来、どこに住んで働くかは決めていませんが、どこに住むことになったとしても、輪島の魅力を伝えていきたいと思っています。過疎化がすすんでいて、いろんな問題もあると思うけど、輪島にはよい町であって欲しいと思います。今日の話を聞いてたくさんの学ぶことを確認でき、良い機会になったと思います。そして、輪島をより良い町にできるように、自分のできることを一つ一つやっていきたいと思っています。〔3年 谷元 樹〕

市内統一漢字テスト、漢字検定合格者

【第2回市内統一漢字テスト結果】

	平均点	合格点	合格者数	満点賞	合格率	優秀賞
1年	99.1	95点	21人	11人	95%	10人
2年	99.6		27人	20人	100%	7人
3年	99.6		27人	16人	100%	11人

2年生の頑張りが光っています。団体戦を意識した取組の成果です！！

【27年度漢字検定合格者】

級	生徒氏名			
準2級	秋月 清吾	栗倉 実可	谷元 樹	谷元 美紗
3級	月海 華子	前名 和樹	皆戸 彩夏	皆戸 裕夏
4級	田中 健介 池田 知央 山本 日和里	神谷 泰輝 鍛冶 孝太郎	出村 貴志 中山 莉子	三尾 彩子 南 さくら
5級	大田 果穂 堂前 美咲	神谷 結萌 友延 彩音	川岸 愛美	小力 もも



英語検定合格者、「輪島市子ども作品展」受賞者

【1月22日実施 27年度第3回英語検定合格者】

級	生徒氏名				
3級	麻窪 優香	坂口 皓哉	田中 健介	宮下 倭	宮本 大地
4級	織戸 岳	徳田 啓太	谷内 和希		
5級	田浦 綾華				

※3級は1次試験合格者→2次試験は2月21日実施され、現在結果待ち

【平成27年度「輪島市子ども作品展」受賞者】

	生徒氏名(学年)
輪島市子ども育成会連絡協議会会長賞	池田 知央(1年)
金賞	中山 莉子(1年)
銀賞	山下 絵実理(3年) 釜谷 大貴(2年) 藤平 なつき(2年)



能登地区の代表として出場してきました！！

◇石川県バレーボール1年生強化練習大会 於：金大付属中体育館（2月11日）

1回戦 安宅中学校（小松市） 1 － 2 東陽中学校 ○

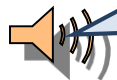
2回戦 西南部中学校（金沢市） 2 － 1 東陽中学校 ▲

合格餅を頂きました！！ 粘り強く頑張ります！！！！



今年も受検を控えた3年生の全員合格を祈念して、川原農産(有)様より合格餅を頂きました。3年生はあと10日ほどで公立高校入試を迎えます。家族だけでなく、地域の皆さんが自分達中学生のことを気にかけて応援してくれていることに、改めて感謝するとともに、最後まで粘り強く学習していかなくて

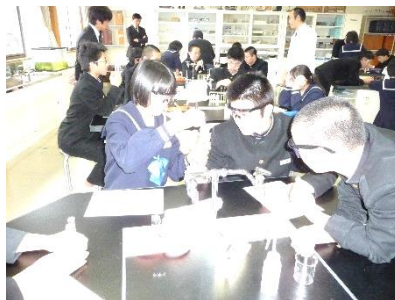
はなりません。敵は己の中にあり。今日できることは今日の内に。しっかりと試験に臨む準備を整えましょう。



出前授業がありました。

2月17日（水）には、飯田高校から平野 敏教諭、矢知 寛幸教諭、塩田 高基教諭の3名の先生をお招きし、理科の出前授業が2年生を対象に行われました。

3人の先生がつくことで、日頃、やりたくてもできない科学の実験に取り組むことで、科学の奥深さや面白みを感じるだけでなく、実験で扱ったことが、実は、普段の生活の中にも応用されていることに、驚きを隠せませんでした。



今の学習は「これからの社会を生きる力」のため… 家庭学習から！

【2年スキルアップテスト、3年学年末テストの結果】

	国語	社会	数学	理科	英語	合計
2年	73.3	65.6	54.6	54.1	50.0	297.6
3年	75.8	78.5	63.6	62.7	55.9	336.6

3年生は18日・19日の学年末テストで、中学校で行う全定期テストを終了しました。後はその集大成として3月8日（火）・9日（水）に行われる公立高校一般入試に臨みます。一方、1・2年生は次の新しい学年にすすむべく、学年最後の定期テストを3月3日（木）・4日（金）

に迎えます。2年生は昨年末の評価テスト、市統一学力調査、2月のスキルアップテストと3年生のテストスケジュール以上の短いサイクルでテストをこなしてきました。ということは、1年生は、28年度は今の2年生と同じ立場に置かれることになります。中学校生活の3年間は部活動、委員会活動、地域行事と非常に濃厚かつ忙しい生活となるのが実情です。そして、中学校を卒業し高校にすすむためには“入学試験”という関門をくぐり抜ける必要があります。また、その後の進路についても試験や検査が必要となることはいうまでもありません。仕事に就いても、新しい仕組みや技術が次々に取り入れられ、それらに対応する力が求められます。学校便りでも何度も書いてきましたが現代は『知識基盤社会』を迎えていると言われていいます。自らが必要な知識を身に付け、尚且つ、それを使いこなさなければならない社会という意味です。現在の学校では、その社会に対応できる人物を育てるために様々な取組がなされています。東陽中学校が今年度から取り組んでいる『能動的な学習＝アクティブ・ラーニング』もまさにこれからの社会を生きる子どもたちを育てるための取組になります。自ら課題を見だし、仲間と協力しながらこの課題を解決していく。また、その中でより良い答えを練り上げていく。本校の生徒は本当によく頑張ってくれています。そして、その学習を条件として家庭学習の充実があります。課題を解決するための基礎的・基本的な知識の定着は家庭学習の充実にかかっています。輪島市全ての学校で、現在、家庭学習の充実に取り組んでいますが、濃厚かつ忙しい中学校生活の中で、その日にできることを確実に果たすこと（＝その日の家庭学習はその日のうちに）は、実は、これからの社会を“生き抜く力”として非常に大きな意味を持ってきます。それぞれの立場で節目を迎える今、もう一度、家庭学習を見直し、質・量ともにより良いものにしていきましょう。

◇3月及び4月当初の予定

1	火	挨拶指導 志願変更締切 輪島高校卒業式	13	日		25	金	離任式（am9:00～） PTA 会計監査 給食会計監査
2	水	能登高校卒業式	14	月		26	土	
3	木	1・2年生学年末テスト 特別支援学校合格発表	15	火	安全点検	27	日	
4	金	1・2年生学年末テスト	16	水	公立一般入試合格発表	28	月	臨時教頭会
5	土		17	木		29	火	臨時校長会
6	日	輪島市スポーツ賞表彰式	18	金	南志見・町野小卒業式	30	水	
7	月	公立一般入試直前指導	19	土		31	木	
8	火	公立一般入試①	20	日	バレー河原杯	1	金	職員会議
9	水	公立一般入試② 職員会議	21	月	バレー河原杯 春分の日	2	土	
10	木	卒業式予行	22	火		3	日	
11	金	第6回東陽中学校卒業式	23	水	2年社会重要語句テスト	4	月	新任式・入学式準備 職員会議
12	土		24	木	修了式	5	火	入学式・始業式